

らひふ

松下記念病院

vol.13

2011
春号



診療科
見学note

泌尿器科部

Closeup
お仕事

薬剤師の紹介

特集

病院内自律搬送ロボット「ホスピー」
～パナソニック(株)とのコラボレーション～

■ MATSUSHITA REPORT
患者満足向上研修を開催

■ 健康コラム vol.2
花粉症対策

■ news
・医療連携センター
・院内ボランティア

高度な医療を標準化して安全で良質な医療を提供します。

泌尿器科診療

泌尿器科での診察臓器は、腎・尿管・膀胱・尿道といった尿路臓器、精巣・前立腺などの男性性器、副腎などの内分泌臓器があります。

手術に関連した検査機器には、膀胱ファイバースコープ、体外衝撃波結石破碎装置、前立腺肥大症の治療には、からだにやさしい生理食塩水を使用する前立腺切除装置「TURis」・「TUEB」など、高性能装置を整備しています。

また、*クリニカルパスを積極的に採用することによって高度な医療を標準化して安全で良質な医療を提供しています。入院時に入院中の経過がわかることで、社会復帰の予定が立てやすく、患者さまにも好評です。

*クリニカルパス…病気の治療や検査に対して、標準化された患者さまのスケジュールを表にまとめたもの。

実績

当科では、膀胱癌・前立腺癌・腎癌などの尿路・性器腫瘍の患者さまが多く、これらに次いで前立腺肥大症・尿路結石症・神経因性膀胱・尿路性器感染症が多くみられます。

外来受診者は、一日平均50～60名程度で、入院する患者さまの約90%が尿路性器腫瘍や尿路結石症・前立腺肥大症で手術が必要な方になります。

外来診察は、手術日（3月まで水曜日、4月より火曜日）を除く月曜日から金曜日に実施しています。

スタッフ紹介



山本

金沢

朴

部長 かなざわ もとひろ 金沢 元洪

日本泌尿器科学会専門医・指導医
日本Endourology&ESWL学会
泌尿器腹腔鏡技術認定医

主任 やまもと こうすけ 山本 浩介

日本泌尿器科学会専門医・指導医
日本透析学会専門医

医師 ほく ひでひさ 朴 英寿

日本泌尿器科学会専門医

検査機器



膀胱ファイバースコープ



体外衝撃波結石破碎装置



腎エコー風景

代表的な疾患と治療方針

■ 膀胱腫瘍の治療

- 膀胱腫瘍患者の約90%に経尿道的膀胱腫瘍切除術を実施しています。膀胱全摘除術が必要な患者さまに対する尿路変更術としては、術後のQOL (生活の質) を考慮し回腸利用新膀胱造設術や回腸導管造設術を主に行っています。
- 膀胱温存を望まれる患者さまには、動脈内注入化学療法も考慮します。他臓器への転移の可能性のある進行膀胱癌の患者さまには、複数の抗癌剤による全身化学療法を実施します。

■ 前立腺癌の治療

- 腫瘍マーカー (PSA) の普及に伴い早期癌で発見される症例が増え、根治手術や放射線療法の比率が増加しています。当科では、開腹手術を主に施行しており、腹腔鏡手術は行っていません。放射線治療は前立腺により高濃度の照射が可能となり、治療効果を高めるとともに、周辺臓器への合併症の軽減が見込まれています。

■ 前立腺肥大症の治療

- ほぼ全例において、内視鏡手術である経尿道的前立腺切除術を行っています。内視鏡では、切除困難な巨大な症例に対しては開腹手術を実施しています (年平均1~2件)。

■ 腎癌の治療

- 積極的に外科的手術を実施し、必要に応じて消化器外科とも協力体制を整えています。近年では、検診の普及に伴い小さな腎癌もよく発見されているため、可能な限りからだへの負担が軽い腹腔鏡下手術を実施しています。

■ 尿路結石症の治療

- ほとんどは通院治療で可能な体外衝撃波結石破砕術を行っていますが、ある程度大きな結石の場合は経皮的腎尿管切石術や、経尿道的尿管碎石術などの内視鏡手術も積極的に実施しています。

手術・在院日数実績 (2009年度)

検査名	件数	在院日数
前立腺全摘除術	11件	10日
膀胱全摘尿路変更術	5件	30日
経尿道的膀胱腫瘍切除術	90件	4日
経尿道的前立腺切除術	15件	5日
体外衝撃波結石破壊術	185件	外来
経尿道的尿管碎石術	29件	4日



ディスカッション風景

当科では、一人ひとりの患者さまが納得できるように丁寧な診察と親切な説明を心がけ、より多くの患者さまの治療が可能にするため入院期間の短縮もめざしています。

また、京都市立医大の泌尿器科と緊密な連携をとり、各種疾患に対する治療方針の統一や臨床研究なども行っています。

Closeup お仕事

薬剤師の紹介

当院で使用されるすべての薬剤を通じて、患者さまに安全と安心、また満足度の高い医療の提供をできるように努めています。

薬剤部とは…

薬剤部は、昨年12月より地階に場所を移し、薬剤師14名、事務員2名、他3名で24時間365日働いています。

薬剤師の主な仕事

1) 医薬品の調合・供給について

- * 医師が処方した処方せんに基づいて薬の量や使い方、飲み合わせ等に問題がないか。これらの安全性を確認しながら内服薬・外用薬を調剤。
- * 化学療法の患者さまの点滴や注射剤(抗がん剤)など処方の内容に沿っているかを複数の薬剤師により監査し、調製。



三木 小森 佐野 山口 岡田
中 津田 大友 宅和 斉藤

2) 薬剤管理指導(服薬指導)について

- * 入院時に持参された薬剤について他の病院・診療科の薬との飲み合わせなどに問題がないか確認。
- * 検査に用いる薬剤の説明等、量や使い方の指導。



内服薬・外用薬調剤



点滴・抗がん剤の監査、調製

3) その他業務について

- * 薬に関する情報の収集と整理を行い、医師・看護師等医療スタッフに薬の情報を提供。
- * 薬の採用に関する業務を担当。
- * 院外処方(2001年9月より開始)の*疑義照会対応。
- * *治験管理部および松下介護老人施設「はーとぴあ」の薬剤師業務も行っています。
- * 疑義照会…薬剤師が問題がある・確認が必要と判断した処方について処方箋を発行した医師に確認を行う業務。
- * 治験………治療の有効性や安全性を確認する臨床試験



薬剤管理指導



医療薬品情報提供

スタッフの声

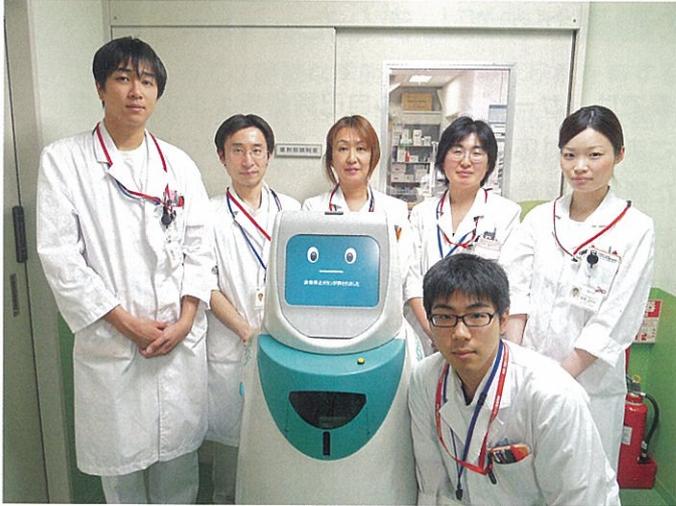
医療技術の高度化や医薬品の安全使用により医療現場で薬剤師に求められる役割は年々重くなっています。薬剤師の仕事は調剤のイメージが大きいと思いますが、薬の効果や副作用などを個々に知ることにより、医師に処方の提案や患者さまへの服薬指導が重視されています。医療現場での実践能力を充実させるために、薬学教育は2006年より4年制から6年制へと延長されました。日々進歩する医学と薬学の知識を学び、より安全な薬剤管理をめざします。

特集 病院内自律搬送ロボット HOSPI

集

～パナソニック(株)とのコラボレーション～

- パナソニック(株)で開発された病院内自律搬送ロボット「ホスピー」(HOSPI)が、本年1月より薬剤無人搬送を行い、院内で活躍しています。



王 守谷 川井 井本 後藤
村上



夜間の重症患者の対応で手が離せない時、搬送先に正確に届けてくれて助かっています

ホスピー (HOSPI)

- 院内地図に沿って廊下を通ります。
人や障害物を見つけるとスピードを落とし、ぶつからないように進みます。
- ホスピーは音声を発します。
“すみません とおしてください”
“ご協力ありがとうございました”
- エレベータに乗ります。
患者さまが降りた後、ホスピーのみエレベータに乗ります。乗っている時は、右上のモニターと音声でお知らせします。



これからもよろしく!!

今後はホスピーを増やし、いろいろな搬送業務に活用する予定です。

当院では、より安全で安心できる医療の提供を行うために、職員が専門性の高い本来の業務に専念できる環境づくりをめざしています。そこで、医療機器の開発に力を入れるパナソニック(株)とのコラボレーションを展開しています。

ホスピーは、地階の薬剤部から各病棟および救急外来に薬剤を無人搬送しています。夜間も稼働できるため、院内業務の効率化が期待できます。

電子カルテによりオーダーした薬をそろえる機器ロボット



注射薬自動払い出し装置



院内ならどこでも移動します



ひとりでエレベータにも乗ります

患者さまによりよい サービスを提供するために

～患者満足向上研修を開催～

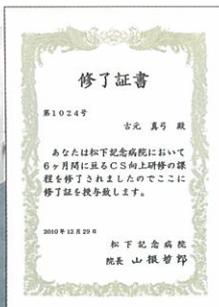
テーマは「さらなる患者満足創造をめざして」。
松下記念病院の多職種スタッフ32名の職員が参加しました。

■ 当院ではよりよい病院づくりをめざし、従来ご意見箱の設置や満足度調査を実施し患者さまの意見をお聞きし対応してきました。今回の研修は、より患者さまの視点に立ったサービスを向上させることを目的に、2010年4月から6ヶ月間、院内で実施しました。参加者は医師を除く全ての職種より代表者を選出しました。患者さまに満足していただくために何をどのように具体的に提供すればよいかそれぞれの立場で検討し、病院全体の意識向上につなげています。

■ 講義では、「サービススキル自己評価チェック」や「患者さま接遇対応18の観点」から、患者さまの立場からみた課題や改善点を学びました。

また、グループワークを通して、参加者はコミュニケーションの向上や部署を超えたネットワークづくりのよい機会となりました。多職種が集う病院だからこそ横のつながりを大切にし、患者さまの声に耳を真摯に傾けた対応が必要であると考えます。今後も継続して当院を利用していただくためにも患者さまと職員間、職員同士のコミュニケーションを大切にし、満足していただけるホスピタリティの提供に努めてまいります。

研修修了証書授与式の様子



6カ月の研修に32名が参加し、受講生には、修了証書が授与されました。

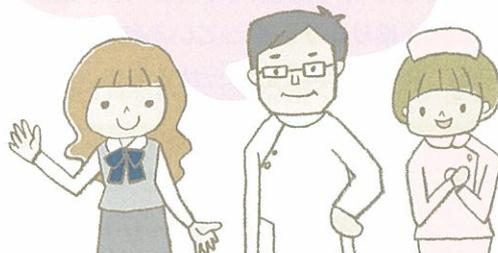
「研修を終えて」

株式会社エクスアンティ 永田正章

昨年10月に「患者満足向上研修」が修了しました。看護、事務、コメディカルなどを含めた一期生32名が、半年間の部門横断型研修に参加しました。

この研修を通じて、松下記念病院の組織風土や参加者の良い面が表出しました。特にグループワークで、他の参加者から学び、気づき、関わる姿勢は、まさにチーム医療の実践として、お互いに援助しあう関係を構築できたのではないかと思います。

当院では、これからも
患者満足向上に向けて
取り組んでまいります。



松下記念病院 医事管理課 古元

花粉症対策

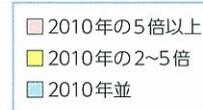
～日常生活の支障を軽くするための工夫とは～

**今年の花粉の飛散数は、例年の約10倍！
つらい症状を和らげるため、対策はお早めに。**

例年、2月頃よりスギ花粉の飛散が始まり、花粉症の患者さまにとっては憂鬱な季節です。スギ花粉症を有する人の数は、大都市部においては近年増加傾向にあると言われています。特に今年は、昨夏の猛暑の影響を受け、近畿の花粉飛散予想数は今年の約10倍とも言われています。

鼻づまりや眼のかゆみなどのつらい症状は集中力や思考力を低下、睡眠障害など日常生活にさまざまな影響を及ぼします。少しでも花粉症の症状を和らげ、日常生活の支障を軽くしましょう。

花粉の飛散量傾向
2011年



ウェザーニュース
2010年10月5日
報道より

からだに侵入する花粉を少なくするための工夫

マスクとめがねを使用し、
花粉の曝露を最小限にしましょう！



1/3～1/6に減らし
鼻の症状軽減



通常のメガネでも
1/3に抑える

花粉の多い日の外出は控えめに！

花粉を室内に持ち込まないように
しましょう！（花粉をよく落とす）

- ① 帰宅後の衣服は玄関ではらう
- ② 外に干した洗濯物、布団をはらう
- ③ ドアや窓を閉める
- ④ 散歩後のペットも玄関ではらう

掃除はこまめにしましょう！

帰宅後には、手洗い・
うがいをしましょう！



のどに流れた
花粉を除去します

規則正しい生活と十分な睡眠で
免疫力を高めましょう！



花粉症の主な症状

- くしゃみ・鼻水
- 鼻づまり
- 眼の充血・涙
- 眼のかゆみ

※ 花粉の飛散量に
比例して、症状が
悪化する傾向にある



＋ 対策

花粉症の症状が出たら…

- 1) 花粉症は、医療機関を受診して、医師による治療を受けましょう。
- 2) 早めに治療を開始することで花粉症の重症化を防ぎます。
- 3) 鼻や眼などの症状が重い場合は、耳鼻咽喉科や眼科の受診をお奨めします。
- 4) 点眼薬が処方された場合、清潔な手で、容器の先がまぶたやまつ毛に触れないように1～2滴点眼します。また、医師に指示された回数は守ってください。

花粉症の流行期には、花粉の飛散予報ニュースを確認の上、外出されることをお奨めします。

地域医療連携室・医療福祉相談室・がん相談支援室の3部署が集結
～「医療連携センター」として新たにスタート～

松 下記念病院では、地域医療支援病院として地域住民の皆さまや患者さま、地域医療機関（診療所・クリニック等）の方々が利用しやすいよう、環境改善に努めています。

当院では、地域医療機関との連携を担う「地域医療連携室」、医療に関する相談窓口の「医療福祉相談室」、がん診療に関する相談窓口である「がん相談支援室」の3部署を病院1階（旧薬剤部）に集結し『医療連携センター』として新たにスタートすることになりました。

- 相談口の一本化
- 入院時から退院後対応の一環化
- 地域の医療情報の集約化

また、患者さまにご利用いただく”ご相談ゾーン”や”栄養指導室”を設け、患者さまサービスの向上をめざしています。



院内でボランティアが活躍しています!!

アメニティーゾーンの絵本をご利用ください!

受診案内ボランティアの嶋谷さんより、絵本約250冊を病院に寄贈していただきました。皆さまに長くご利用いただくために、ボランティアで絵本にカバーをかけ、小児科病棟（4階）・産婦人科病棟（4階）や談話室（3階）・小児科外来（2階）・図書コーナー（小児科前中2階）に設置しました。どうぞご利用ください。



小児科病棟でのボランティアによる絵本の読み聞かせ



ボランティアによる絵本の製本活動



本棚 談話室（3階）

お問合せ先

病院・はとぴあボランティアに関するお問い合わせは、松下記念病院1階「総合案内」へ
Tel. 06-6992-1231 (代表)